

第 1 回検討部会における意見等への対応について（緩和策関連）

No.	質疑内容	対応	資料
1	<p>【用途別の原単位】 例えば業務部門全体の原単位は様々な業種が混ざっており、自分のビルと比較することは難しい。可能であれば、<u>大きい分野のオフィスの原単位や世帯の原単位の目標のようなものを参考に出せると良い。大きい目標と自分の使っているオフィスや住宅との対比ができればわかりやすいと考える。</u></p>	用途別のデータ（エネルギー消費量及び原単位）を整理する。	資料 2 P. 6
2	<p>【気候変動適応に関する記述】 資料の「千代田区が地球温暖化対策に取り組む意義」を見ると、基本的に緩和策のことしか書かれていない。<u>これからの施策は適応を考慮して進めていく必要があることも述べてはどうか。</u></p>	緩和策と適応策の計画を二本立てで考えているため、ここでは緩和策のことしか書いていない。計画の目標はそれぞれ明確に掲げ、緩和策と適応策の関連性や意義はまとめて書くなどメリハリをつけて表現していく。	—
3	<p>【スマートシティの定義】 <u>対策優先度や基本方針にある「スマートシティ」や「スマートコミュニティ」について、他自治体でも使われているキーワードで特定の文脈が共有されている、もしくは幅広くイメージを持っているのであれば問題ないかと考えるが、一方で焦点が曖昧になってしまうこともある。例えば ICT の活用推進や多様なサービス提供など、いくつかのポイントがあると思われるため、他の言葉で置き換えることもできるのではないか。</u></p>	安全なまち、強靱なまちをつくっていくというイメージでスマートシティを考えている。エネルギーを減らして低炭素化していくということは基本方針 1 や 2 で実現し、併せて安全安心なまちをつくるというイメージである。現行計画が事業を重複して掲載していてわかりにくいという指摘から、事業の重複を避けるためにスマートシティを広い解釈にしている。各委員と相談し、より明確になるようにしたい。	—
4	<p>【スマートシティの定義】 <u>スマートシティの「シティ」は千代田区全体を示すのか、それとも小さい単位のコミュニティを示すのか。千代田区全体というよりももっとコミュニティを重視していくという考えがあるのか聞きたい。</u></p>	区全体のイメージである。検討の中で明確化する必要があると考えた場合は説明できるようにする。	—
5	<p>【対策優先度】 対策優先度があるが、<u>基本方針 1 から優先していくような印象を受けた。4 つの方針が優先されるというようなことをどこかに書いた方が良いのではないか。</u></p>	<p>基本方針 1 から 4 の中で優先劣後するというわけではない。 基本方針 1 と 2 については、エネルギー消費量を減らして、かつその上で環境負荷が小さいエネルギーに変えていくという考え方である。基本方針 1 と 2 はどちらかという対象としては建築、地域レベルだが、3 は都市レベルの話であり、4 になると千代田区外との連携や千代田区の中でもいろいろな事業者との連携などを対象にしている。 基本方針における考え方の順番を示す意味で「対策優先度」という表現をしていたが、分かりにくいいため、「対策優先度」は記載せず、「基本方針」に一本化することとする。</p>	資料 2 P. 7

No.	質疑内容	対応	資料
6	<p>【オリンピックに向けた取組み】 <u>基本方針4のところ</u>に「<u>オリンピック・パラリンピックに向けた取組みの推進</u>」とあるが、<u>他の施策の並びと少し違う</u>。オリンピック自体も来年であり、この計画ができてからの短い期間で何ができるのか。<u>施策に入れている意図は何か</u>。</p>	<p>資料は、現行計画に載っている施策を新計画に並べ替えたらどうなるか、加えて現段階で考えられる新規施策の分野を入れたイメージ図を示した。オリンピックの日程が伸びた中で扱いをどうするか検討が必要だが、現段階ではイメージということで受け止めていただきたい。</p> <p>改定後の施策体系では、それぞれの取組みを改定のタイミングに合わせ、適切な施策に区分できるように検討する。</p>	資料2 P. 7
7	<p>【取組みの主体】 現行計画の課題として取組みの主体が分かりにくいという記載があるが、<u>施策体系のイメージでは、どの主体が何をやるのかが分かりづらい</u>。あくまで施策の全体像を示す方法もあると思うが、もう一つ誰がどのような対策をするのかわかりやすいポンチ絵もあって良いかと考える。</p>	<p>施策毎に関係主体を明記することを考えたが、体系のイメージとしては分かりづらいものになってしまう恐れがある。次回又は計画素案の段階のいずれかの段階で分かりやすく整理したものをお示しすることを考えている。</p>	資料2 P. 8-11
8	<p>【事業者へのヒアリング】 問題や課題等を拾い上げるという意味で、先進的な取組みをしている事業者だけではなく、<u>例えば教育機関や学校、商店街などのサービス業などもヒアリングして意見を吸い上げた方が良い</u>と考える。</p>	<p>教育機関や商店街などは、別途中小企業等向けのアンケートなどを実施する。</p>	—
9	<p>【事業者へのヒアリング】 緩和と適応があるが、ヒアリングする相手が変わってくる可能性もある。緩和を担当している方と適応を担当している方が異なる可能性もある。<u>アンケートは緩和と適応を併せて一度に行うのか</u>。</p> <p>適応と言っても言葉自体があまり認知されておらず、<u>企業に連絡する際にはもう少し具体的な影響を出して、「この影響に対する対策を聞きたい」というように聞いた方が反応が良くなる</u>と思う。</p>	<p>緩和と適応については窓口を通じて両方聞けるように整理する。</p> <p>適応について何を聞きたいのかを明らかにして相手に当たる。</p>	—